

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日13:00～14:00

会長 菊地 富士子

例会場 ANAクラウンプラザ  
グランコートホテル名古屋

幹事 荒山 久美

承認 2013年6月18日

公共イメージ  
向上 藤谷 猛



2024～2025年度名古屋アイリスRCのテーマ

### 不易流行

～ DEIを取り入れて新しい風を私たちのクラブへ～

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

## 第499回 例会

2024年10月9日 13:00～

- 司会 長松久美子 例会・出席・親睦委員
- 斉唱 我らの生業
- 出席報告 出席者数 10名 / 20名  
出席率 50.0%
- ゲスト 名古屋北 RC 会長 伴野友昭様
- ビジター 名古屋北 RC 幹事 野牧久嗣様  
地区米山総額委員会 安藤壽子様

### ニコボックス

- 名古屋北 RC 会長 伴野友昭様  
本日は宜しくお祝い致します。
- 名古屋北 RC 幹事 野牧久嗣様  
本日よりよろしくお願い致します。
- 地区米山記念奨学委員 安藤壽子様  
本日は、卓話宜しくお祝い致します。
- 菊地富士子 会長  
北 RC 伴野会長、野牧幹事、お越し頂きありがとうございます。安藤様、米山奨学の卓話楽しみにしております。宜しくお祝い致します。
- 青木恭子 副会長  
本日は北ロータリーよりお出で下さいましてありがとうございます。米山奨学委員の安藤様、宜しくお祝い致します。
- 加藤正広 奉仕プロジェクト委員長  
安藤壽子様、銀波荘では大変お世話になりました。卓話楽しみにしております。
- 荒山久美 幹事  
板尾会長、野牧幹事、ようこそ当クラブへ。小じんまりクラブですがお楽しみください。安藤様、本日の卓話宜しくお祝い致します。

### 10月度 誕生日お祝い

8日 島村恵三さん 14日 須賀祐介さん

### 会長挨拶

皆さんこんにちは 499回例会です。本日は名古屋北ロータリークラブより伴野友昭会長、野牧久嗣幹事にご出席賜りありがとうございます。伴野友昭会長には後ほどご挨拶いただきます。よろしくお願い致します。地区米山奨学委員の安藤壽子様にお越しいただき後ほど



卓話いただきます。よろしくお祈りします。安藤様は蒲郡 R より出向されており、当クラブに在籍されていた安藤さんの奥様です。ご縁を強く感じます。さて先月で終了いたしました NHK の朝ドラ「虎と翼」ご覧になりましたか。寅ちゃんの話です。モデルの三淵嘉子さんが五黄の寅年生まれです「虎と翼」は中国の戦国時代の法家 韓非子の論文集「韓非子」の「難勢」にある言葉で「強い力をもつ者にさらに強い力が加わる」という意味です。「鬼に金棒」という意味と同じ意味です。先日朝ドラ監修されていた明治大学の村上一博教授のお話をお聞きました。三淵さんは台湾銀行にお勤めのお父様を持ちシンガポールで生まれお父様がニューヨークに赴任の時はお母さまとご実家で過ごされていました。そして明治大学の法科に入学され、その後はドラマの通り判事として活躍されています。

再婚相手の三淵さんのお父様三淵忠彦様は初代最高裁長官をされていた方です。寅ちゃんは結婚渋っているシーンがありましたが実際は寅ちゃんのひとめぼれをし、2か月で再婚されたとのこと。共重事件の法廷シーンでは被告人弁護士は実際70名だったそうですがドラマでは16名でしたが、予算の関係で法衣が3着しかなく他の方はスーツで出演。後ほどNHKにクレームが殺到したそうです。・鶴舞公園のシーンがありましたね。スタッフや出演者には現場は名古屋としか聞かされず名古屋入りをするそうです。

寅ちゃんは DEI の垣根を自ら突破した方です。今回の朝ドラはいまだに残っている女性の社会進出の壁の意識を深めるものでした。物事を解決に導くためには過去の過ちや事実を知ることは大切と思います。

### 幹事報告



荒山幹事から以下の幹事報告がありました。

\*10/23 の例会には錦 RC から IM の PR お越しになります。卓話は今年の大河ドラマがテーマです。

\*11/6 は昨年度の決算総会を行いますので出来る限り出席をお願いします。

\*11/10 の地区大会本会議の終了時間が17時から17:30に変更になりました。

## 米山奨学金贈呈



米山奨学生のラウト・ニラム君に菊池会長より今月の奨学金の想定がありました。

ラウト君、引き続き学業を頑張って良い論文を書き上げて下さい。

## 卓 話 (1)

【名古屋北ロータリークラブ 会長 伴野友昭 様】



名古屋北RCの会長を務めさせていただいております伴野でございます。本日はこのような席にお招きいただき、ありがとうございます。

子クラブの名古屋守山RCさんと名古屋葵RCさんにご訪問させていただいた際には、名古屋北RCの今年のクラブテーマである「一隅を照ら

そう ～ Brighten the World at Your Corner ～」の内容についてお話をさせていただいたのですが、名古屋アイリスRCの皆さんは、既にガバナー訪問の際にお聞きになられていますので、今日は、私がなぜクラブテーマを「一隅を照らそう」と決めたのか、というお話をさせていただきますと思います。

ひょっとすると、皆さんは、常識として天台宗の開祖である最澄の言葉「一隅を照らす」を、知っていらっしゃる方が多いのかもしれませんが、私がこの言葉を知ったのは、今から5年前のことです。ちょうどその頃、優しめの自己啓発本を読むことがマイブームだったのですが、そのブームの最中、「心に折り合いをつけてうまいことやる習慣」という本を読んでいて、その中でこの「一隅を照らす」という言葉に出会いました。この本は16万部売れたということですし、続編も発売されましたので、もしかしたらお手に取られた方もいらっしゃるかもしれません。

この「心に折り合いをつけてうまいことやる習慣」という本は、作者である女性の精神科医の先生が、90歳近い先輩の現役精神科医の中村恒子先生から聞いた話や、中村先生の生き方をまとめた本なのですが、その中村先生の座右の銘が、「一隅を照らす存在になればよし」という言葉だと紹介されていました。

私は、そこで初めて、最澄の「一隅を照らす」という言葉を知りました。そして、この「一隅を照らす」という言葉に、非常に心を打たれたといえますか、大変感銘を受けたわけです。なぜかと言いますと、自分の考えている職業観にピッタリくる言葉だったからです。

自分が弁護士になったときに、弁護士の使命として、基本的人権の擁護とか、社会正義の実現とかいう、素晴らしい理念を聞かされるわけなのですが、自分にはあまりに壮大すぎるし、実体が見えないので実感が湧かず、志とするには少し大げさな気がして、「基本的人権の擁護・社会正義の実現という、弁護士の使命を

現するのだ」などという思いに至ることはありませんでした。

仕事については、自分としては、たまたまご縁が合って自分のところにやって来た仕事を、まじめにきちんと処理・対応して、誠実に1つ1つ向き合っていけば、結果として、この世の中において、基本的人権が擁護されることに繋がったり、社会正義が実現されることになるのではないかと考えていました。そしてその後も、この考え方が正しいのかどうか確信が持てないまま、目の前にある仕事に必死で取り組んできました。

そして5年前に、先程ご紹介させていただきました本の中で、「一隅を照らす」という言葉を知りました。そこで、自分が考えていた職業観もあながち間違っていないか、自分が「一隅を照らす」という言葉が好きになって、RI会長テーマ「ロータリーのマジック」にも通じる言葉であったことから、名古屋北RCのクラブテーマとさせていただいたという次第です。

名古屋アイリスRCの皆様、あと9ヶ月間、そしてその先も、末永くよろしく願いいたします。

## 卓 話 (2)

【国際ロータリー第 2760 地区米山奨学委員 安藤壽子様】

「米山奨学事業の活動について」

【自己紹介】



皆様、こんにちは。

本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。地区米山記念奨学委員の安藤壽子と申します。所属は蒲郡ロータリークラブでございます。どうぞよろしくお願いいたします。実は名古屋アイリスロータリークラブさんとは以前からご縁がございまして。

夫の安藤が蒲郡信用金庫在職中に会員として御クラブで大変お世話になりました。私もクリスマス会に2回ほど参加させていただきまして、大変温かく和やかな雰囲気の中で豪華なプレゼントをいただいたことを鮮明に覚えております。また、蒲郡での地区大会の時には、ご利用いただき、本当にありがとうございました。私はまだロータリークラブ入会に入会して1年未満でわけわからず米山に出向になりましたが多くの奨学生たちとの交流を経て日々、勉強させて頂いております。諸先輩方を前に大変僣越ながらこれより米山のお話をさせていただきます。

【お礼】

名古屋アイリスクラブ様におかれましては創立の時より奨学生を受け入れていただき、多大なるご協力とご貢献を賜り、誠にありがとうございます。また今年度も引き続きネパールのラウト・ニラムさんを育てていただいているということで、感謝申し上げます。まずは概要を説明します。

【概要】

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが

作り育てた独自の事業で、34 地区、全地区が参加する多地区合同活動です。1952 年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさまからのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には世話クラブの例会や活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。本日もラウト・ニラムさんのご参加ありがとうございます。

#### 【米山梅吉翁】

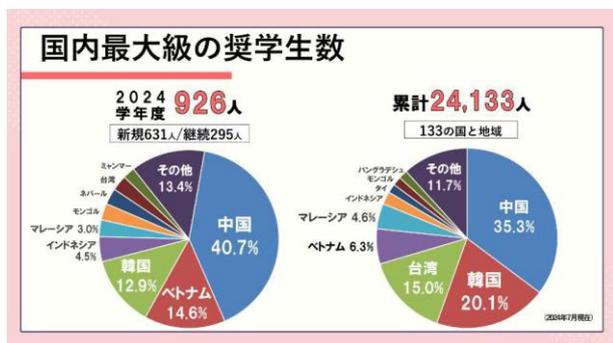
ロータリー米山記念奨学金は、日本のロータリーの父、米山梅吉翁の名前を冠した事業です。と言いましても、梅吉さんの財産で作られたものではありません。ダラスロータリークラブの会員となっていた日本人の福島喜三次（ふくしま きさじ）氏と出会い、1920 年に日本で最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブを設立しました。そのため、日本のロータリーの父と呼ばれています。

#### 【豆辞典 P-1-2】

終戦翌年の 1946 年、米山梅吉さんが亡くなりました。戦後の落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉さんの功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやるのではないかという声が大きくなってきました。そして 1952 年、東京 RC が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助するとともに、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。この「米山基金」が、わずか 5 年で日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967 年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。続いて、奨学生の数や選考について説明します。

#### 【奨学生の数】

米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では、国内最大規模です。2024 学年度は、日本全国で 926 人（前年度 900 人）が採用され、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では、世界 133 の国と地域から 2 万 4,133 人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。



累計では中国、韓国、台湾が多いですが、国内では、ここ数年でベトナムからの留学生が急増しており、現役奨学生の中では中国に次いで多くを占めています。中国の割合はここ10年増減はございません。中国の学生が多い最も大きな理由は、各地区が選定する指定校か

ら推薦をいただくのですが、在籍する留学生に限ると、55%が中国の学生と、さらに比率が高くなっています。とはいえ、一つの国に偏ることなく、様々な国の留学生を支援して差し上げたいという思いはあります。

各地区では、各指定校に対し、「推薦者は 1 カ国 30%以内に」などの要望を出し、多様な国から採用する努力をしています。今年度、2760 地区ではギリシャとポルトガルの留学生を新たに採用させていただきました。

最近、少しずつヨーロッパの学生も増えてきていて大学の先生からお聞きしています。★豆辞典 p6、p13 を参考にご覧いただければと思います。

#### 【奨学生の選考】

★豆辞典 p12 をご覧ください。

米山奨学生の選考方法は、全国統一の基準がありまず将来の目標、留学の目的がしっかりとしっていて、人間性やコミュニケーション能力などを主に採用基準として選考します。それに加えて特に、クラブとのコミュニケーションが取れるというところを重点に地区の裁量をつけさせていただいております。米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。珍しい国だから、生活に困っているから、あるいは、学校の成績が優秀だから…。ただそれだけでは米山奨学生に合格しないのです。将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育てる事業なのです。

#### 【当地区の米山奨学生】

当地区では今年度、51人の奨学生を受け入れていますが。画面は上段が春の奨学生学友会合同研修会で瀬戸を訪れました。下が 7 月の地区奨学生交流会の様子です。私は RFF と春の研修会で奨学生たちと一緒にさせていただきましたが、とにかく皆さん、日本語が上手！そして明るく元気です。そんな印象を持ちました。来年、2025 学年度の割当数は53人、これに加えて、海外応募の奨学生などが採用される可能性があります。

#### 【寄付金について】

★豆辞典 p7 に決算報告書が掲載されています。昨年度、2023-24 年度の寄付金収入は 14 億 4,568 万円（前年度 14 億 2,292 万円）と、その前の年度から約 2,300 万円増加となりました。上段グリーン色の有価証券の配当金（※1）は、事前の取り決めにより、奨学金にのみ使用しています。みなさまのご寄付はほとんどが奨学金に使われていますが、奨学金以外、例えば地区や世話クラブへの補助費、事業部門の職員人件費などにも一部使われています。全体で見ると、7,379万円の黒字となっております。

★豆辞典 p22 をご覧ください。

米山奨学会の事業は皆様からの毎年の寄付で運営されています。また、地区の奨学生数はほぼ寄付額で決まります。寄付は大きく 2 種類です。クラブから会員数分を納める「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・クラブから任意で出す「特別寄付金」です。「特別寄付金」は、任意でしていただくものです。こちらは個人やクラブ、法人の実績となり、表彰の対象となります。特別寄付に関しましては、金額ではなく、寄付率になりますので、1 円からでも結構です。米山奨学会への寄付は

寄付金控除の対象となり、確定申告をすれば、所得税、法人税の税制優遇を受けることができます。※どの程度軽減されるかは豆辞典の p24 をご参照ください。米山へ特別寄付金は、表彰の対象となります。個人として特別寄付をした場合、累計で 10 万円に達すると「米山功労者」となり、米山奨学会から感謝状が贈られます。2023 年度から表彰制度が一部変わり、累計 50 万円になった方に、新たにピンバッジが贈られることになりました。こうしたこともモチベーションの一つにしてください、ぜひ、継続的に寄付をしていただけますよう、お願いいたします。★詳しくは豆辞典 p23 に掲載されています。

#### ★豆辞典 p26

これは、地区別の個人平均寄付額です。昨年度の全国平均は 17,293 円で、昨年よりも高い平均額となりました。最も高かったのは、本地区で、36,935 円です。

これは、ホンザキの坂本会長から1億の高額寄付がございましたので、本地区におきましては昨年度 15 位だった 15,032 円に対して伸び率が245%となりました。皆さまにおかれましてもご協力に心より感謝申し上げます。もう少し詳しく見てみますと、本地区の個人平均寄付額 36,935 円のうち、普通寄付金は平均 4,974 円、全国平均は 4,909 円。また、特別寄付金は 31,960 円、全国平均は 12,384 円でした。次は、特別寄付者の割合です。棒の高さは会員数を示しています。会員の中で、個人として特別寄付をした人の割合が赤色の部分です。全国平均は前年度と同じく、2006 年の統計開始以来、最高の 47.3%、本地区は 35.5%でした。寄付の裾野を少しでも広げることが理解を広めることでもあり、地区奨学生採用数のアップにもつながります。皆さまのご協力をよろしく願います。

#### 【巣だった米山奨学生】

では、皆さまが支援していただいた元奨学生たちは、どんな活躍をしているのでしょうか。巣だった奨学生は学友になっていただくことが決まっております。



#### ★豆辞典 p19

巣立った奨学生のOB組織、米山学友会は日本に 33、海外に 10 ございます。2023 年 5 月に、新たにベトナム南部(ホーチミン)を拠点とする「ベトナム南米山学友会」が設立承認されました。日本は全部で 34 地区ですが、北海道は 2 つの地区で1つの学友会となっているため、日本の全地区に学友会がございます。

#### 【本地区の学友会活動】

春の米山奨学生との合同研修会、5 月の RFF の出店参加がございました。画面の写真は先月 24 日、愛知

学友会総会後にクラブ米山奨学委員長、奨学生との合同懇親会が行われました時のものです。このあと地区米山委員会主催の 11 月には秋季米山奨学生、学友合同研修会は熱田神宮で日本の文化、歴史を学びます。12 月には日本伝統の忘年会を合同で開催が予定されています。

#### 【海外の学友の活動】

海外の米山学友会も頑張っています。台湾米山学友会では、台湾へ留学する日本人の若者に対し、奨学金を支給しています。今年で 16 年目となり、累計 61 人もの日本人を支援しています。また、海外留学を考えている台湾の学生に日本への留学をすすめたり、米山奨学金を紹介したりもしてくださっています。あまり知られていませんが、韓国米山学友会でも 2016 年から、韓国へ留学する日本人の若者への奨学金支援を行っています。今年 8 人採用、すでに累計 50 人もの日本人を支援してくださっています。モンゴル米山学友会は、今年創立 10 周年を迎えました。7 月に「学友からロータリアンへの親孝行」というテーマで記念式典が開催され、日本からの多くのロータリアンや学友など、合わせて約 140 人が集まりました。

中国にある上海米山学友会の大連支部では、学友が自ら資金を出し合って農地を借り、野菜や花を育て、自閉症の子どもたちが自然に触れる機会を提供しています。画像にはございませんが、ネパールの学友会では 2015 年の大震災で日本に寄せられた義援金を資源として、貧しいネパールの子供たちへの教育支援をしています。巣立った奨学生たちは、個人としても世界中で活躍しています。「豆辞典」や「米山学友の群像」、「ロータリーの友」「よねやまだより」等で多くの学友を紹介しています。ぜひご覧ください。ロータリーに親しんだ学友たちは、卒業後も、ロータリーとのつながりを持ち続けたいと願っています。現在、ロータリー会員になった学友は 302 人です。米山学友が中心となって設立したロータリークラブは台湾に 2 つ、日本国内に 4 つあるほか、衛星クラブも 2 つ設立されています。また、ガバナーになった学友も 3 人いらっしゃいます豆辞典 14 ページに一覧が載っていますので、ぜひご覧ください。

#### 【学友からの寄付金・義援金 ★豆辞典 p15】

米山へのご寄付のほとんどはロータリー会員からのものですが、実は学友も、この事業を支えています。米山学友からの寄付金は、累計 1 億 3,305 万円にのぼります。この 1 億 3,305 万円以外にも、日本で大きな災害が起きるたびに、国内外の学友から義援金が寄せられています。巣だった奨学生と奨学生から学友になった子たちの情報が米山記念奨学委員会のホームページにも沢山載っています。ロータリーの友の米山だよりもありますので、ぜひご利用いただければ、と思います。

#### 【知っておいていただきたいこと】

米山は、実は奉仕の実感を体感することができる日本のロータリーのプロジェクトなのです。この事業を今後も大切にするために、危機管理やその他知っておいていただきたい点についてお話しします

★豆辞典 p10 をご覧ください。

#### 【危機管理】

米山奨学生は、ほとんどが成人しているとはいえ、外国から来て勉学に励む学生です。彼ら/彼女らの安全について、常に気にかけてくださいますようお願いいたします。

①自然災害の場合。

有事の際、奨学生と世話クラブ役員、または、奨学生と地区米山委員会、あるいは学友も含めた SNS グループを作っておくと、いざというときに迅速に確認を取ることができます。

②病気や事故の場合。

留学生は国民健康保険に加入しているので、医療費は3割負担ですが、米山記念奨学会では、2020年4月から、現役奨学生が例会出席の道中に起きた事故や病気に対する保険に加入しています。何かあれば相談してください。また、奨学生が例会に参加するためにバイクや車を使用する場合、免許があるかどうか、任意保険に加入しているかどうか、必ず確認するようにしてください。

③ハラスメント。

米山奨学金の最大の価値は「交流」にありま何か問題が発生した場合は、まずは地区米山奨学委員会へ報告・相談をしてください。参考:『カウンセラー・ハンドブック 2024 学年度』 p20-21

ではなく、毎年実施するものです。今年も12月頃から奨学会とガバナー・ガバナーエレクトとの間で覚書を交わし、来年2月頃から、地区と、世話クラブ会長・会長エレクトとの間で覚書を交わしていただくことになります。お手間をおかけしますがこちらもよろしく願いいたします。

【紺綬褒章】

米山記念奨学会は2018年、「紺綬褒章(こんじゅほうしょう)」の公益団体に認定されました。これにより、個人の場合は500万円以上、団体・企業などは1,000万円以上を当会へ寄付していただき、定められた条件を満たした場合に、紺綬褒章の授与申請をいたします。分納による寄付も可能です(分納期限に制限はありません)。紺綬褒章の申請に向けたご寄付を検討される際は、あらかじめ当会事務局へお申し出ください。最後になりましたが、来年度も引き続き奨学生の受入、お世話等、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。以上を待ちまして私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

**奨学生に関わる危機管理**

自然災害	病気・事故	ハラスメント
地区米山奨学委員会・危機管理委員会へ報告・対応		
地区単位のLINEグループ等	現役奨学生の傷害保険 ・ 例会出席 ・ オリエンテーション ・ 終了式	奨学生 - ハラスメント相談窓口 - ロータリアン - 賠償責任保険

**業務委託・覚書の締結**

・ 2020学年度からスタート、毎年実施

米山記念奨学会 ↔ 地区・ガバナー・ガバナーエレクト ↔ 世話クラブ・会長・会長エレクト

毎年 1~2月	毎年 2~3月
業務委託に係る覚書	業務委託に係る覚書 (世話クラブ)
原本(2部)は、 ①ガバナー事務所 ②米山奨学会で保管	原本(2部)は、 ①ガバナー事務所 ②世話クラブで保管。 写しをPDFで奨学会へ提出

【業務委託・覚書】

米山記念奨学会は、実際の奨学生の選考、お世話などの業務を、地区・ガバナー・世話クラブへ「委託」する形となっています。まず、「米山奨学会」と「地区」との間で覚書を交わし、続いて「地区」と「世話クラブ」との間で覚書を締結していただいています。これは、1回限り